

# 「清く明るいう豊かな町づくり」

## 町民とともに住み良い地域をめざして

光町長 馬場 幸太郎

明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和六十一年の年頭にあたり、町民各位の御健勝と御発展を心から御祈念申し上げます。

昨年中は何かと皆様に御指導、御協力を賜り、町政各般にわたり着実に発展することが出来たことを厚く感謝申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昭和六十一年も、引き続き厳しい財政環境下であり、町民福祉の向上の施策を展開してゆく為には、限られた財源を有効に利用し、公債依存体質からの脱却と行財政改革の推進が中心課題であります。私共もこれらの事情を十分認識し、行政運営の一層の見直しを行い、高齢化社会の伸長するなかで、将来多様化する行政需要に対応出来る健全財政の堅持に努めてまいりたいと思っております。

本町は、今日まで厳しい財政環境下においても「清く明るい豊かな町」づくりを基本として、住み良い地域づくりを推進してきたところであり、「第七次三ヶ年実施計画」の最終年度である六十一年

度も、

○産業の振興

○教育の充実

○社会福祉の向上

○生活環境の整備

を中心施策としてゆく所存であります。

町民各位の一層の御指導と御支援をお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

### 光町民憲章

- 一、老人を敬い、子供を導き、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、体力づくりに励み、長生きの町をつくりましょう。
- 一、自然を愛し、美しい郷土を築きましょう。
- 一、教養を高め、互いに規律を守りましょう。
- 一、公共福祉を尊重し、明るい町をつくりましょう。



光町の将来構想を語る四役（右から収入役・町長・助役・教育長）

